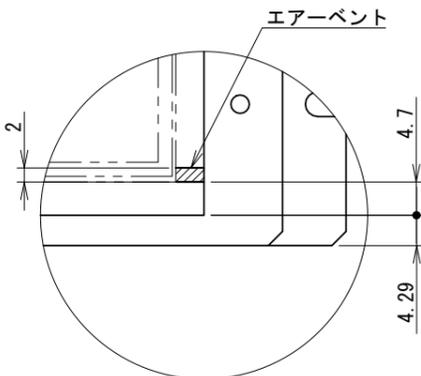
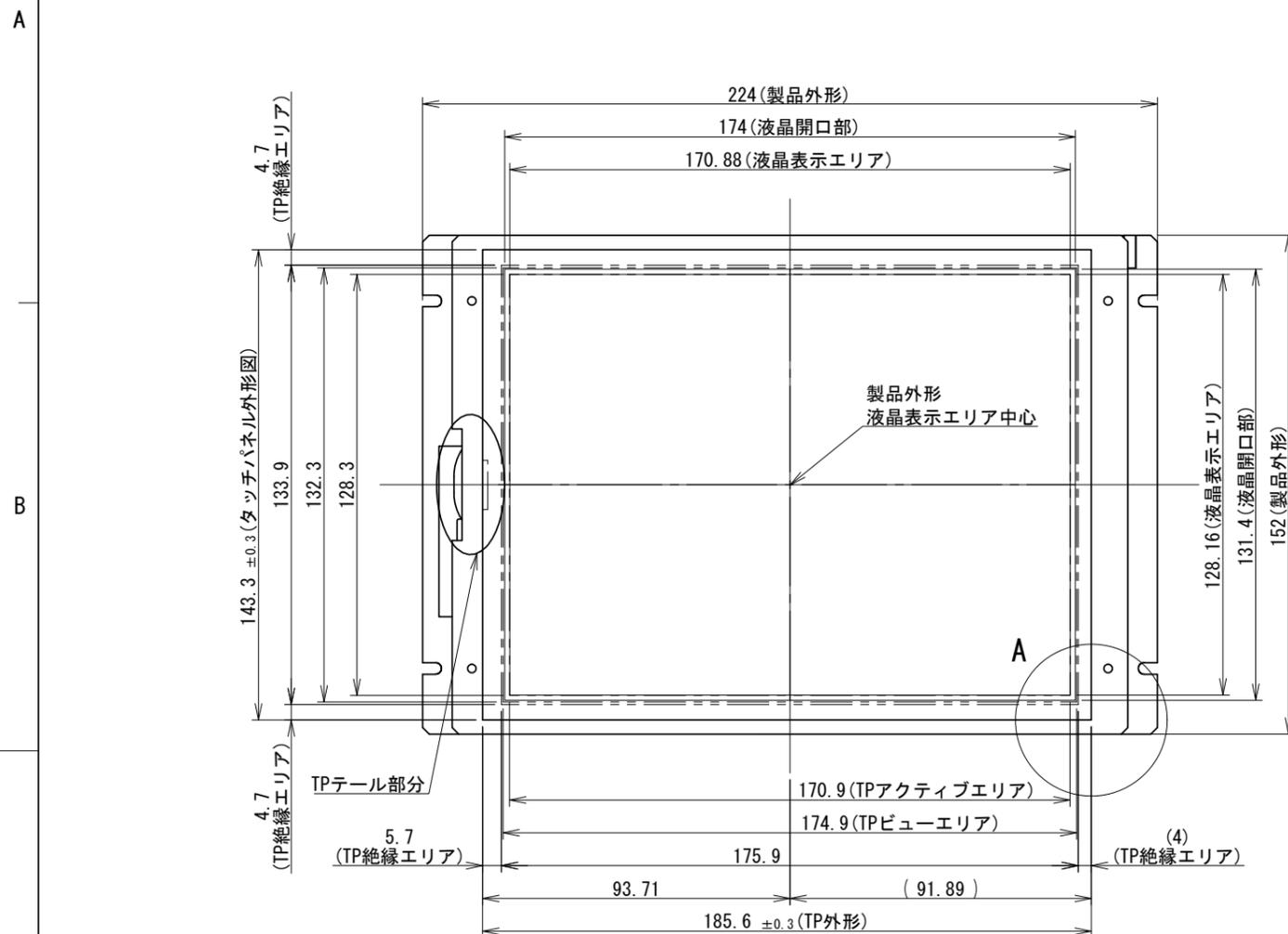


本図面はS/N 05001以降の製品が対象

S/N 10000未満の製品についてはC10631A-X113△をご参照下さい。

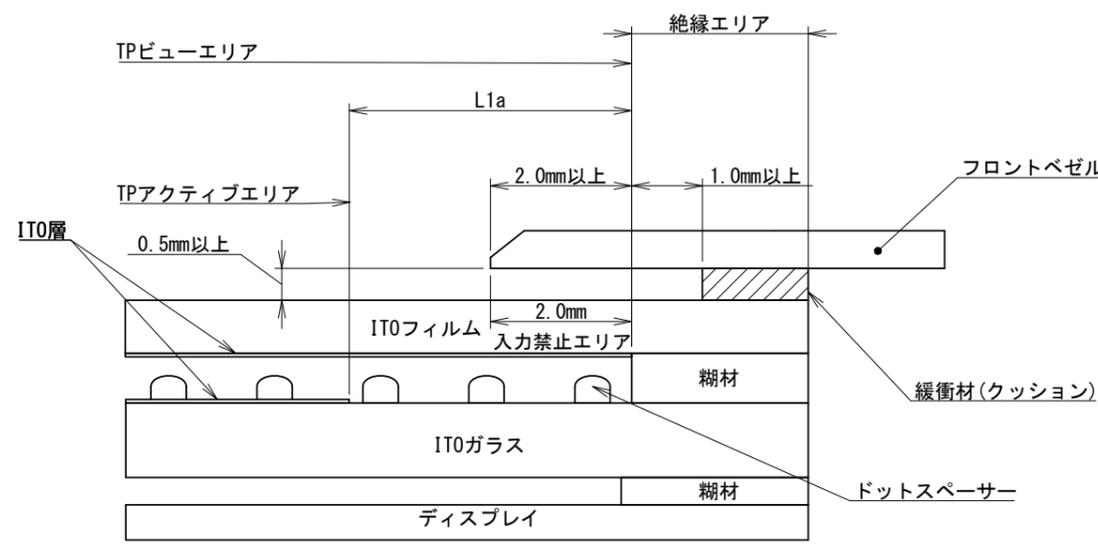


詳細図 A
スケール 1 : 1

指定外寸公差表

寸法の区分	公差等級					組立公差
	f	m	c	v		
0.5以上 3以下	0.05	0.1	0.2	-	-	1
3をこえ 6以下	0.05	0.1	0.3	0.5	1	1
6をこえ 30以下	0.1	0.2	0.5	1	1	1
30をこえ 120以下	0.15	0.3	0.8	1.5	2	2
120をこえ 400以下	0.2	0.5	1.2	2.5	3	3
400をこえ 1000以下	0.3	0.8	2	4	4	4
1000をこえ 2000以下	0.5	1.2	3	6	6	6
2000をこえ 4000以下	-	2	4	8	8	8

Rev. No.	Rev. Rea.	DESCRIPTION	DATE	APPROVED	DRAWN
----------	-----------	-------------	------	----------	-------



推奨取り付け構造例

取り付け上の注意事項

- ①フロントベゼルの先端は、TPアクティブエリアとTPビューエリアの間(L1a)に入る様に設計されることを推奨します。TPアクティブエリア内に入るとフロントベゼルが押された際に先端がタッチパネルを押し、誤入力の原因になります。
- ②フロントベゼルに手を乗せたりした状態で、フロントベゼルのひずみなどがタッチパネルを誤入力しない様にフロントベゼル内側とタッチパネル上部電極との間には0.5mm以上の隙間を設ける様にしてください。
- ③TPアクティブエリアとTPビューエリア(L1a)は荷重をかけた場合、予期せぬ入力を引き起こす可能性があります。この部分に直接触れない様にしてください。
- ④絶縁エリア端面を基準にTPビューエリアより2.0mm以内のエリア(入力禁止エリア)は、構造上耐久性が弱くなっています。特にペン入力時にこのエリアが押されるとフィルムが伸び、破損の恐れがあるため直接触れない様にしてください。またTPアクティブエリアとTPビューエリアの間(L1a)が2.0mm以上の位置になるように設計することを推奨します。
- ⑤フロントベゼル内側とタッチパネル上部電極との間に緩衝材を設ける場合は、ある程度の余裕を持たせて温度変化によるフロントベゼルと上部電極の伸縮差を吸収できるようにして下さい。緩衝材が強く押さえ付けられていると伸縮を吸収しきれずタッチパネル上部電極の歪み、たわみを引き起こす事があり、外観、機能両方に影響を及ぼすことがあります。また緩衝材は必ず絶縁エリア端面に対して1.0mm以上外側へ取り付けして下さい。
- ⑥タッチパネルの中には内圧と外圧を均一にするためエアイベントを設けています。取り付け時にこのエアイベントを塞がないようにして下さい。特に緩衝材を使用する際は十分に注意して下さい。また水分がエアイベントの近くに貯まると内部へ浸透する恐れがありますので、水分が貯まらない様に注意して下さい。また装置内部からの圧力でタッチパネル上部フィルムが盛り上がる様な状態は避けて下さい。
- ⑦タッチパネル表面に緩衝材を貼り付けしないで下さい。必ずフロントベゼル側へ貼り付けて下さい。タッチパネル表面に緩衝材を貼りつけた場合、上部電極と下部電極の接着部にストレスがかかり破損しやすくなります。
- ⑧タッチパネルのテール部分には過度のストレスが掛からない構造にしてください。絶縁不良や回路断線の危険性があります。

APPROVED	CHECKED	DRAWN	TITLE	液晶詳細図	MATERIAL	DATE	2020/1/23
藤本	柳原	河相	TYPE	GOP-5084SVTAA	FINISH	SCALE	1:2
ISHIHYOKI			DWG. No	D19620C-X102	0 10 mm		Total 配布先

A. 法文指示 B. 設計変更 C. 設計不良 D. 記入漏 漏記
 E. 工作指示 F. 施工対策 G. 材料指示 H. 工事指示
 P. 購入品指示

Rev. Reason 訂正理由

B

C